

時代を開いた女性たち その2

満州国：1932年3月、清朝最後の皇帝の宣統帝溥儀を執政として樹立。34年溥儀を皇帝に帝政を施行。実際には関東軍司令官の下、要職に就いた日本人官吏が各部門で実権を握った。45年8月、対日参戦したソ連軍が占領、消滅した。

城壁に立つ 山口 淑子さん (元参院議員)

ある日、同級生と出かけた中南海公園で、日本軍が万里の長城を超えて北京へ侵入し

*

中国東北部に「満州国」が建国された二年後の一九三四年、北京に留学した私は、激しい抗日運動を目の当たりにしました。父の友人潘家の娘さんと通っていたカトリック系女学校でも、授業中に外の男子生徒がどよどよ入って来て、「抗日のデモだ。皆参加するように」と呼びかけるのです。北京語の二等の資格があつたとはいえ、純粋の北京人の中では自信がありません。私が日本人とわかつたら、殴り殺されてしまったでしょう。だからデモに誘われると、頭が痛い、お腹が痛いと言つて断つていました。潘家の母には、愛想笑いや深々とお辞儀するのはやめなさい。日本人とわかりますよ」と、よく注意されたものです。

た時、我々はどう闘うか」という学生討論会に遭遇しました。すると、リーダーとおぼしき人が、一人一人指して尋ね始めるではありませんか。

「共産軍に行く」地下工作に入る……。友人は「私は恋人のあとを追つて重慶 国民政府勢力の拠点」に行く」と答えました。いよいよ私の番です。何と言えはいいのだろうと思ひ詰めていました。が、答えは見つかりません。そして口をついて出た言葉が、「私は北京の城壁に立ちます」でした。

北京は四方を城壁に囲まれていました。当時は各方面からの襲撃を警戒し、外に通じる城壁の門は夕方五時ごろ閉じられていました。城壁の上に立てば、日本軍か中国軍のどちらかの弾に当たつて一番先に死ぬでしょう。それが私にふさわしい」としか、考えられなかったのです。

*

初めて祖国日本を訪れたのは三九年、十九歳でした。満州建国博覧会に、日満親善のため呼ばれたのです。

連絡船が下関に着き、係官が旅券の検閲をした時のことは忘れられません。私の旅券には「山口淑子 佐賀県杵島郡北方村 芸名・李香蘭」とありました。係員は中国服姿の私を指して、こうなったのです。「貴様、日本人か。日本人は一等国民だぞ。二等国民が三等国民の服を着て恥ずかしくないか」

「五族協和」をすばらしいと信じ、幼い頃から中国人とも朝鮮人とも仲良く遊んできたのに、こんな侮蔑の言葉を、あこがれの祖国の人からかけられるとは。日本人のごう慢さと差別意識を知り、これが現実なのか」とショックでした。中国に溶け込もうとするほど、日本人であると意識させられる。板挟みの悩みに苦しみました。

ページ設定：上下左右余白すべて 20mm、フォント：MS明朝、10.5P

タイトル：ワードアート (MS P ゴシック 28P、「女性」の部分はHG 正楷書体 44P)

「城壁に立つ」の段落：段落罫線、行間 24P、テキストボックス：サイズ 52mm×178mm、縦書き

時代を開いた女性たち その2

(解説)

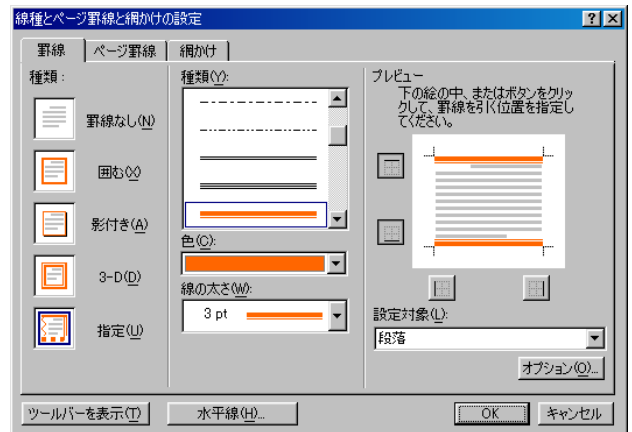
1. ページ設定を行う。(上下左右：20mm)
2. 先頭から3～5行程改行し、ワードアートとオートシェイプを利用してタイトル部分を作成する。
 - ※1：「時代を開いた たち」の部分は、「MSP ゴシック、28p」とする。
 - ※2：「女性」の部分は「HG 正楷書体、44p」、「その2」の部分は「MSP ゴシック、18pt」とする。
 - ※3：「大波」と「角丸四角形」を利用し、背景部分を作成する。
3. 左側に沿って文章を入力する。
 - ※1：英数字は全て直接入力とすること。
 - ※2：「満州国・・・」と「城壁に立つ・・・」部分は、じかに書く。
 - ※3：「中国東北部・・・」部分は、1つの大きなテキストボックス（横書き）を作成する。
 テキストボックスのサイズは、「縦52mm×横178mm」とする。
 - ※4：文章を入力し、全て選択したのち「字下げ：1字」の段落設定をする。
4. 「城壁に立つ」部分は、「MS 明朝、20p」とし、「山口淑子」部分は、「MS 明朝、16p」とする。

※：「段落罫線」の設定を行う。

「罫線」を選択し、
 「種類：上が太い、下が細い線」
 「色：オレンジ」「線の太さ：3pt」
 「設定対象：段落」

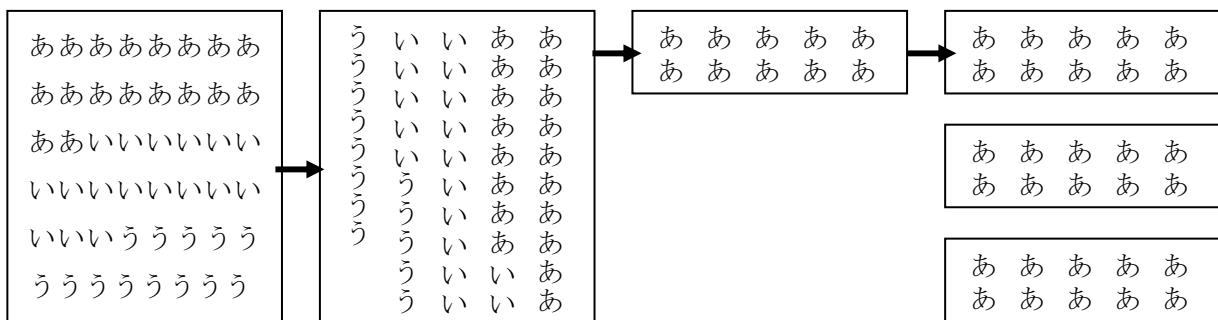
とし、プレビューの左右の線を外す。

5. テキストボックスで入力した部分を以下のように変更する。



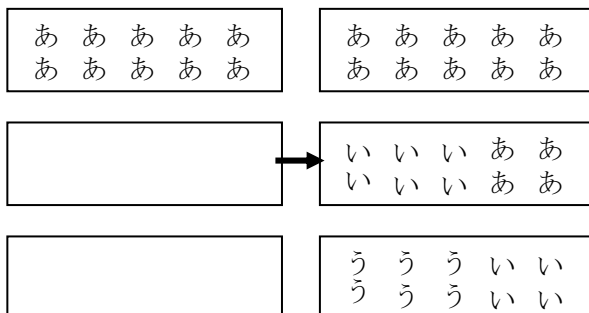
※1：「横書き」を「縦書き」に変更する。

※2：テキストボックスのサイズを適当に小さくする。



※3：小さくしたテキストボックスをコピーする。(Ctrl+Shift+左クリック)

※4：2個目3個目の文章を削除し、「テキストボックスのリンクの作成」を行う。



バケツみたいな絵をあいっているテキストボックスの上に乗せると前の文章の続きが表示される。

※5：テキストボックスの線を「線なし」にする。